

令和 6 年 5 月 22 日現在

機関番号：34310

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20K00357

研究課題名（和文）中国国家図書館所蔵の主要日本語雑誌（戦前期）の総目次作成

研究課題名（英文）To make contents of journals written in Japanese collected in China National Library

研究代表者

竹松 良明（TAKEMATSU, YOSHIAKI）

同志社大学・人文科学研究所・嘱託研究員

研究者番号：30249396

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,000,000円

研究成果の概要（和文）：戦前期中国で発行された日本語雑誌のうち、「上海」、「上海公論」、「上海時論」、「北京週報」、「山東文化」、「大東亜」、「興亜」ほか計16雑誌の総目次作成を予定していたが、上記の雑誌の大部分は北京の中国国家図書館に所蔵されている。しかしコロナ禍のため全く中国に渡航できず、仕方なく日本国内の有力図書館から上記雑誌の一部所蔵分を探し出し、「上海」365冊、「上海公論」4冊、「上海時論」5冊、「北京週報」16冊、「山東文化」12冊、「大東亜」11冊、「興亜」28冊の総目次を作成した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

北京の中国国家図書館には戦前期中国発行の日本語雑誌が大量に所蔵されているが、その全貌はかつて一度も明らかにされていない。それは同図書館がかつて一度も所蔵雑誌の一覧できる冊子類を作成せず、蔵書カードのみで検索する方式であったためであり、現在でも端末検索機では雑誌の一覧を表示することはできない。従って、今回の研究対象である戦前期中国発行の日本語の文化雑誌類は、当時の日本人居留民社会の動向を最もよく伝える貴重な史料であり、今回採択した雑誌のほとんどが日本国内には所蔵がなく、中国国家図書館にのみ所蔵されている。

研究成果の概要（英文）：I planned to make contents of 16 journals written in Japanese collected in China National Library. These titles are Shanghai, Shanghai-koron, Shanghai-jiro, Beijin-shuhou, Santo-bunka, Daitoa, koa, etc. Because of Corona, I could not go to China National Library. I made contents of following journals they are collected in domestic libraries. They are Shanghai(365 volumes), Shanghai-koron(4), Shanghai-jiron(5), Beijin-shuho(16), Santo-bunka(12), Daitoa(11), Koa(28).

研究分野：日本近代文学

キーワード：中国発行の日本語雑誌 居留民文化雑誌

1. 研究開始当初の背景

筆者はこれまでに戦前期中国発行の日本語雑誌のうち特に文芸・文化関係のものを探し出し、その総目次作成を進めてきたが、中国における上記の雑誌類の宝庫とされる大連図書館が日本支配下時代の日本語文献の閲覧に強い制限を設け続けているため、北京の国家図書館を主たる調査対象に変えることになった。以前から上海・南京・蘇州・杭州・広東ほか各地の主要図書館での調査を持続してきたが、この20年間の間に各地に分散していた上記日本語雑誌類が国家図書館に集められていることが次第に明らかになったからである。上海にある徐家匯蔵書楼のような独立性の高い図書館はそのかぎりではないが、北京・上海以外の地方図書館においては、20～30年前に所蔵されていた雑誌がいつの間にか北京の国家図書館に移されてしまっている例が数多く確認されている。そのため、戦前期の日本語雑誌の類は可能な限り全国各地から国家図書館に集めて集中管理する方針が打ち出されているものと推測できる。従って、戦前期中国発行の日本語雑誌の集中的所在としては、大連図書館と国家図書館の二つが挙げられるが、閲覧に厳しい制限がある中国東北部(旧満州)の代表的図書館である大連図書館はしばらく調査対象から外して、もっぱら国家図書館が今回の総目次作成作業の調査対象となっている。

2. 研究の目的

中国国家図書館所蔵の戦前期中国発行の日本語雑誌のうち、北京・上海・南京・広東・蘇州・杭州ほかには在住した日本人の居留民文化雑誌の類を選び出しその総目次を作成する。具体的には「上海」(1913～1944年)、「上海公論」(1919～1923年)、「上海時論」(1926～1933年)、「北京週報」(1918～1930年)、「山東文化」(1940～1942年)、「大東亜」(1939～1942年)、「興亜」(1939～1944年)、「華北評論」(1940～1944年)、「江南展望」(1939～1943年)、「オール上海」(1942～1943年)、「上海カラー」(1942～1943年)、「婦人大陸」(1943～1944年)、「東洋公論」(1919～1922年)、「華鉄」(1943～1944年)、「新華北」(1943～1944年)、「興亜前線」(1940～1941年)、「北電」(1943～1944年)、「黄土」(1941～1942年)、「日華文化」(1943～1944年)、「燕塵」(1941～1942年)、「善隣」(1933～1944年)、「建設戦」(1942～1945年)、「観光東亜」(1938～1942年)の23雑誌である。

これらの雑誌の本質は日本人居留民の現地に密着した文化雑誌と見ることができる。文化雑誌と言っても自ずから総合雑誌的な色調を帯びてくるため政治・経済関係の記事が一定のスペースを占めてくるのはやむを得ない事情であるが、これらの文化雑誌以外のものは全て工業・商業・その他の実業・宗教・教育などに分化したいわゆる業界誌の類になってしまう。元来は文芸雑誌の総目次作成を核として始めた研究だけに、文芸に隣接する文化領域までを広くカバーする雑誌としては、この居留民文化雑誌という括りは全く格好の存在と見るほかはない。

3. 研究の方法

北京にある中国国家図書館は中国最大の図書館であるが、現在に至るまで過去に一度も所蔵雑誌の全貌を示した所蔵雑誌目録を発行したことがなく、現在でも端末検索機で所蔵雑誌の一覧を表示することはできない。そのために戦前期中国発行の日本語雑誌の実態究明が長く停滞してきた。筆者は2020年に今回の研究分担者である戸塚麻子と共に、北京・上海・南京・広東などの各都市発行の日本語雑誌一覧を表示する方法によって戦前期中国発行の日本語雑誌の全貌を初めて確認することができ、これに基づいて上記の居留民文化雑誌12誌を選び出した。「上海」以外の雑誌については日本国内の所蔵はごくわずかであり、総目次作成作業の実質は中国国家図書館で閲覧しながら作成作業を進めるか、頁数の少ない雑誌については全ページを複写して日本に持ち帰り作成作業をするか、どちらかになる。

4. 研究成果

コロナ禍のために2020～2022年度の3年間および研究延長期間の2023年度の計4年間の間に一度も中国に渡航することができなかった。そのため上記の雑誌のうち、一部分でも日本国内に所蔵されているものを探してその総目次を作成する作業を続けてきたが、2023年度までの4年間に作成できた総目次は、「上海」が365冊、「上海公論」が4冊、「上海時論」が5冊、「北京週報」が16冊、「山東文化」が12冊、「大東亜」が11冊、「興亜」が28冊となっている。

その内訳は、「上海」1号～82号(1913～1914年)が神戸大学人文科学図書館、187～244号(1916～1917年)が東京大学総合図書館、245～270号(1917～1919年)、272～319号(1919～1921年)が山口大学図書館、354～508号(1922～1924年)が神戸大学附属社会科学系図書館の

所蔵雑誌を閲覧した。「上海公論」は1・2・4号(1919~1920年)を2019年に北京国家図書館で、3号を東京大学近代日本法政史料センターで閲覧、「上海時論」1~5号(1916年)を国立国会図書館で閲覧、「北京週報」1~16号(1922~1923年)を国立国会図書館で閲覧、「山東文化」3の1~5号(1942年)、4の1~4号(1943年)、5の1~3号(1944年)を国立国会図書館で閲覧、「大東亜」4の1~6号(1942年)、5の1~5号(1943年)を2019年に北京国家図書館で閲覧、「興亜」3の1号(1941年)~5の4号(1943年)を国立国会図書館で閲覧した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 竹松良明	4. 巻 29号
2. 論文標題 阿部知二「人工庭園」論	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 阿部知二研究	6. 最初と最後の頁 4、15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹松良明	4. 巻 28号
2. 論文標題 阿部知二「おぼろ夜」論（続）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 阿部知二研究	6. 最初と最後の頁 29、40
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹松良明	4. 巻 27号
2. 論文標題 阿部知二「おぼろ夜」のモチーフをめぐる論考（1）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 阿部知二研究	6. 最初と最後の頁 19、29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	戸塚 麻子 (TOTSUKA ASAKO) (10711450)	常葉大学・教育学部・教授 (33801)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------